



## 2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月13日

上場会社名 Recovery International株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9214 URL https://www.recovery-group.co.jp/  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柴田 旬也  
 問合せ先責任者(役職名) 経営管理部部長 (氏名) 山本 浩史 (TEL) 03-5990-5882  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年12月期第1四半期の連結業績(2026年1月1日~2026年3月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	738	—	14	—	14	—	△3	—
2025年12月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 △3百万円(—%) 2025年12月期第1四半期 —百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	△2.51	—
2025年12月期第1四半期	—	—

(注) 1. 2025年12月期第1四半期連結累計期間については四半期連結財務諸表を作成していないため、2025年12月期第1四半期の数値及び前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 2026年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	1,217	739	60.4
2025年12月期	1,347	774	57.2

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 735百万円 2025年12月期 771百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年1月1日~2026年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,430	27.5	215	6.0	218	5.1	151	18.6	113.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年12月期1Q	1,414,000株	2025年12月期	1,414,000株
2026年12月期1Q	106,002株	2025年12月期	83,102株
2026年12月期1Q	1,317,531株	2025年12月期1Q	1,374,898株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。上記の予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について)

当社の決算補足説明資料は、決算発表後速やかにTDnetで開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載する予定です。また、2026年5月22日(金)に個人投資家向け決算説明会を開催する予定です。その模様(動画)及び説明内容(書き起こし)については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、前第1四半期連結累計期間については四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っていません。

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費の持ち直しの動きが見られるなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、原材料価格の高騰や物価上昇の長期化、及び金融市場のボラティリティが高まり、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境の中で、当社グループが属する訪問看護業界におきましては、2040年問題（高齢者人口のピーク到達）を見据え、住み慣れた地域で療養生活を継続できる在宅医療体制の構築が急務となっております。

このような状況のもと、当社は『もう一人のあたたかい家族』を理念に掲げ、ご利用者様に寄り添った高品質な訪問看護サービスをより多くの方に提供すべく、主力事業である訪問看護サービス事業の積極的な専門人材の確保と新規拠点開設に取り組んでおります。また、コメディカル人材紹介事業におきましては、積極的な人材採用や広告宣伝費等の先行投資を行い、さらなる市場開拓を推進しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高738,800千円、営業利益14,013千円、経常利益14,117千円、親会社株主に帰属する四半期純損失3,303千円となりました。

当第1四半期連結累計期間のセグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### (訪問看護サービス事業)

当事業においては、既存拠点の稼働率向上と、地域医療ニーズに応えるための専門性の高い看護師の採用・育成に注力いたしました。また、前期以降に進めた新規出店による拠点数の増加が売上に寄与し、順調に業容を拡大しております。その結果、売上高は710,574千円となり、セグメント利益は202,596千円となりました。

#### (コメディカル人材紹介事業)

当事業においては、積極的な人材採用や広告宣伝費等の先行投資を行い、医療現場における人材不足を背景とした紹介ニーズの積極的な取り込みを図りました。その結果、売上高は28,225千円となり、セグメント損失は24,111千円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は1,070,289千円(前連結会計年度末残高1,195,884千円)となり、前連結会計年度末に比べ125,594千円減少いたしました。これは主に、税金の支払や自己株式の取得等により現金及び預金が114,519千円減少したことによるものであります。

固定資産は147,654千円(前連結会計年度末残高152,042千円)となり、前連結会計年度末に比べ4,387千円減少いたしました。これは主に、のれんが1,999千円、長期前払費用が1,790千円減少したことによるものであります。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は320,797千円(前連結会計年度末残高403,607千円)となり、前連結会計年度末に比べ82,810千円減少いたしました。これは主に、賞与引当金が31,533千円増加した一方で、未払法人税等が42,298千円、未払費用が42,111千円、預り金が24,134千円減少したことによるものであります。

固定負債は157,632千円(前連結会計年度末残高169,950千円)となり、前連結会計年度末に比べ12,317千円減少いたしました。これは主に、長期借入金が11,166千円減少したことによるものであります。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は739,514千円(前連結会計年度末残高774,368千円)となり、前連結会計年度末に比べ34,854千円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上3,303千円、自己株式32,732千円の取得に伴い減少したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期通期の連結業績予想につきましては、2026年2月16日の「2025年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表の業績予想数値に変更はありません。

今後、業績予想を修正する必要がある場合は、速やかに開示してまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	587,195	472,676
売掛金	545,071	520,245
前払費用	37,232	34,932
その他	26,715	42,754
貸倒引当金	△330	△319
流動資産合計	1,195,884	1,070,289
固定資産		
有形固定資産	6,943	6,202
無形固定資産		
のれん	73,328	71,328
その他	1,137	1,746
無形固定資産合計	74,466	73,075
投資その他の資産	70,632	68,377
固定資産合計	152,042	147,654
資産合計	1,347,926	1,217,944

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	39,996	39,996
未払金	55,047	51,692
未払費用	182,223	140,111
未払法人税等	63,694	21,396
未払消費税等	1,092	461
預り金	58,263	34,128
賞与引当金	—	31,533
役員賞与引当金	2,262	—
その他	1,027	1,476
流動負債合計	403,607	320,797
固定負債		
長期借入金	137,840	126,674
退職給付に係る負債	26,741	25,378
資産除去債務	5,369	5,580
固定負債合計	169,950	157,632
負債合計	573,557	478,430
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	203,544	203,544
資本剰余金	189,544	189,544
利益剰余金	504,140	500,836
自己株式	△125,877	△158,609
株主資本合計	771,350	735,314
新株予約権	3,018	4,199
純資産合計	774,368	739,514
負債純資産合計	1,347,926	1,217,944

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自2026年1月1日 至2026年3月31日)
売上高	738,800
売上原価	429,829
売上総利益	308,970
販売費及び一般管理費	294,956
営業利益	14,013
営業外収益	
受取利息	607
業務受託料	253
その他	181
営業外収益合計	1,042
営業外費用	
支払利息	676
自己株式取得費用	261
営業外費用合計	938
経常利益	14,117
特別損失	
固定資産除却損	50
特別損失合計	50
税金等調整前四半期純利益	14,066
法人税、住民税及び事業税	16,175
法人税等調整額	1,194
法人税等合計	17,370
四半期純損失(△)	△3,303
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,303

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純損失(△)	△3,303
四半期包括利益	△3,303
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,303

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自2026年1月1日至2026年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 (注) 2
	訪問看護 サービス事業	コメディカル 人材紹介事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	710,574	28,225	738,800	—	738,800
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	710,574	28,225	738,800	—	738,800
セグメント利益又は 損失(△)	202,596	△24,111	178,484	△164,471	14,013

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△164,471千円は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等の一般管理費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれん償却費は、次のとおりであります。

当第1四半期連結累計期間 (自2026年1月1日 至2026年3月31日)	
減価償却費	941千円
のれん償却費	1,999千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。